

京都産業大学 ことばの科学研究センター 2023年度第2回研究会

日時：2023年6月28日（水）14:00～16:00

場所：4号館2階 総合学術研究所

人の心を読む能力と言語の発達

鈴木孝明（ことばの科学研究センター 研究センター員・外国語学部教授）

言語は思考にどのような影響を及ぼすのだろうか。この問題を個体発生的な観点から捉え、子どもの認知能力の発達における言語の影響を探る。具体的には、日本語における定形補文の獲得が心の理論（ToM）の発達にどのように寄与しうるのが行動実験の結果をもとに議論を行う。

黒船の minstrel show

中西佳世子（文化学部教授）

日本開国が決まるとペリーは艦上晩餐会に日本人を招き、南北戦争前のアメリカで大流行していた minstrel show を披露しました。黒塗りした白人が面白可笑しく演じる人種差別的な show を通して構築された「友好」とはどのようなものだったのでしょうか。1854年、ペリーは日本遠征の帰路に、作家サニエル・ホーソーンを訪ねて遠征記録の編纂を打診しました。これは実現しませんでした。ホーソーンは10年前のペリーのアフリカ艦隊記録の編纂を行っています。このふたつのペリーの遠征記録にはいずれも海軍の minstrel show が描かれていますが、今回は、これらのテキストを中心に19世紀アメリカ文学と日本人が初めて見たアメリカン・エンターテインメントに共通する「笑い」の質と、それがその後の日米文化交流に及ぼした影響について考えてみたいと思います。